

はじめての

パラスポーツ観戦

かんせん

Badminton バドミントン

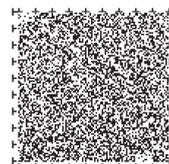


©濱田浩輔

TEAM
BEYOND
みんなで観に行こう、
パラスポーツ。

おうえん
応援のコツがわかると、観戦はもっと楽しくなる!

かんせん
たの



健常者とほぼ同じルールなのに、クラスによってまったく戦い方が変わる。 選手が自分の障がいとどのように向き合い、工夫しているかに注目だ!

01

競技概要

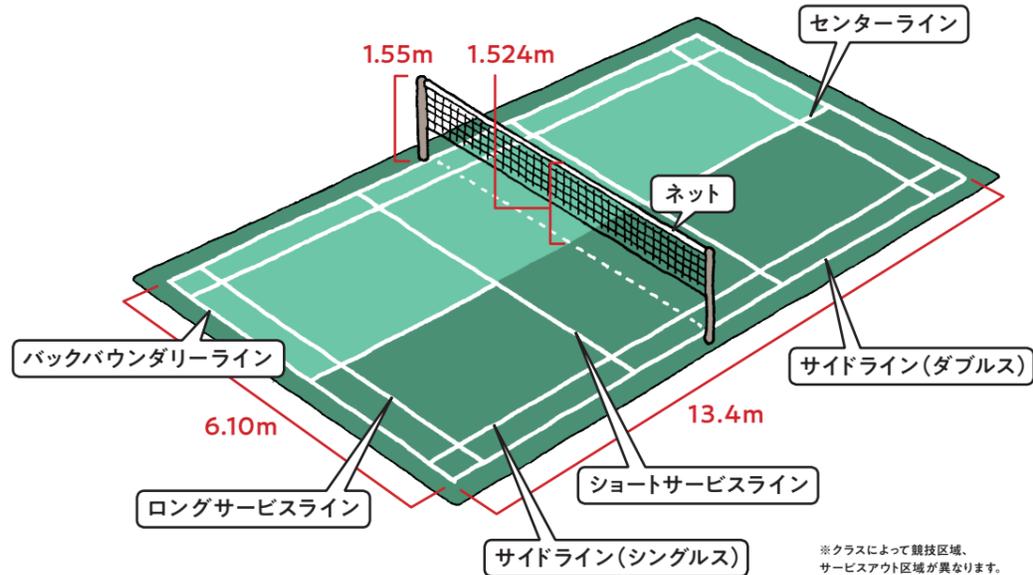
車いすや義足、低身長など様々な障がいの選手たちが激しいラリーの応酬、素早いチェアワークなど、緊張感の漂う駆け引きを繰り広げます。東京2020大会から正式競技になります。



02

ルール説明

基本的なルールは健常者の競技と同じです。1ゲーム21点マッチ方式で3ゲーム行い、2ゲーム先取で勝利となります。



車いすと下肢障がいのクラスは独自の競技規則があります。

●SL4、SU5、SS6 シングルスコートは全面を使用。

●WH1-2シングルスコートは半分を使用。

ネットとショートサービスラインの間はアウト。サーブはショートサービスラインからロングサービスラインの間に入らなければアウト。車いすはシャトルを打つ瞬間に胴体の一部が車いすに接している必要がある。

●WH1-2ダブルスコートは全面を使用。

ネットとショートサービスラインの間はアウト。サーブはショートサービスラインからロングサービスラインの間に入らなければアウト。車いすはシャトルを打つ瞬間に胴体の一部が車いすに接している必要がある。自分の得点が偶数時は右から対角に、奇数時は左から対角に相手にサーブを打つ。

※クラスによって競技区域、サービスアウト区域が異なります。

●SL3シングルスコートは半分を使用。

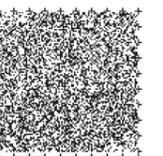
03

見どころ&応援方法

6つのクラス(04.クラス分け参照)それぞれでゲームの特徴やプレーの工夫が異なるところが見どころです。車いすを使うWH1、WH2ではチェアワークと相手との駆け引きが肝。初動が1秒でも遅れたり、落下点の読みが甘ければあっという間に得点されてしまいます。逆に相手の動きの先の先を読んでショットの長さを変えたり、後ろに動くと見せかけて前に動いたりするといった駆け引きも見逃させません。SL3は立位ですが車いすのクラスと同じ半面コートということもあり、ひたすらクリアーとカットを繰り返す忍耐強さが求められる玄人好みの試合展開になることが多いです。SL4、SU5は健常者のゲームと見間違ふほど素早いステップ、激しいスマッシュの応酬が繰り広げられます。男子トップの選手ではそのスマッシュの初速が300kmを超えることも。SS6は、コートの中を縦横無尽に飛び回るようなプレーで観客を沸かせます。

パラバドミントン観戦がもっとおもしろくなるコラム

パラバドミントンの試合会場にはほぼ必ず現れる“目に見えない敵”をご存知でしょうか!? それは、天井を舞う空調の風です。この“敵”の存在を把握するため、非常に重要なのが、試合前のウォーミングアップです。空調の強さや方向は、会場や日によってまちまち。そのため、選手たちはアップ時に、その日の試合相手とともに、“目に見えない敵”についての情報収集をしているのです。そして、もう一つ大事なのがシャトル。実はシャトルは見た目には同じように見えますが、種類が豊富で、大会によって使用する種類が違います。さらに気温や湿度によって異なる飛び方をするため、アップ時にその日の扱い方の感覚をうまく掴めるかどうかはまた、勝負の行方を左右する大事なポイント。つまり!アップ時からすでに“戦い”は始まっているのです!



04

クラス分け

肢体不自由の選手が対象です。障がいの程度によって2つのカテゴリー（車いす・立位）、6つのクラスごとに、シングルス（男子・女子）、ダブルス（男子・女子）、混合ダブルスを行います。

カテゴリー	クラス	詳細		
車いす	WH1	 障がいの程度 <small>おもい</small> 重い	<small>かし</small> 下肢に障がいがあり、 <small>た</small> 立ってプレーすることができず <small>くるま</small> 車いすを使用する障がい	シングルスを 半面で戦う
	WH2			
立位	SL3	 障がいの程度 <small>おもい</small> 重い	<small>かし</small> 下肢に障がいがあるが、 <small>た</small> 立ってプレーすることが <small>できる</small> 障がい	シングルス を 全面で戦う
	SL4			
	SU5	<small>せつだん</small> 切断や <small>まひ</small> 麻痺などの <small>じょうししょう</small> 上肢障がい		
	SS6	<small>ていしんちようしょう</small> 低身長症		

TEAM BEYONDについて

パラスポーツ（障がい者スポーツ全体を指して使用しています）を応援する人を増やすため、東京都が2016年から展開しているプロジェクトです。スポーツをする人も、観る人も、支える人も、あらゆるメンバーがひとつのチームとなってパラスポーツを盛り上げていきます。



みんなで観に行こう、
パラスポーツ。

サイトへのアクセスはこちらから

www.para-sports.tokyo/



SNSも
こうしんちゆう
更新中!



@parasports.tokyo



@tokyoparasports



@tokyoparasports



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT